

平成19年6月期 中間決算説明資料

平成19年3月29日

株式会社アイ・ピー・エス



会社概要

- ・ 平成19年6月期中間決算概要
- ・ 平成19年6月期業績見込

- Implementation Partner for SAP
- ERP R/3の導入サービスをメイン・ビジネス
 - 9年間で23社の実績
 - 導入前段階でのERP導入検討コンサルティングから導入開発
 - 運用開始後の保守サポートサービスまでトータルにご提供致します
 - テンプレートによる一括請負導入
- 1997年6月 設立 (2001年12月 ジャスダック上場)
- 本社 神戸市中央区
- 営業所 東京都千代田区
- 資本金 2億5105万円
- 従業員数 55名



(2006年12月末現在)

ERPパッケージをベースにした 基幹業務システムの構築

ERP関連各種商品開発

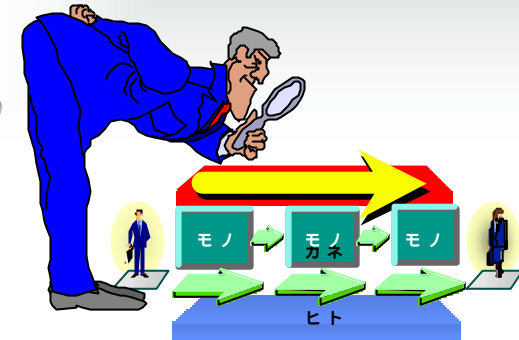
コンサルティング
サービス

外部支援事業

保守開発事業

ENTERPRISE = 企業の
RESOURCE = 資源を
PLANNING = 計画する

**企業内の
全ての資源を
最も効率の良い
再構築計画を行う**



● ERPとは

企業における経営資源 (人、モノ、金、情報) の状況 『今現在の状況』 を管理、把握し、企業活動を行うという経営コンセプト

● ERPパッケージとは

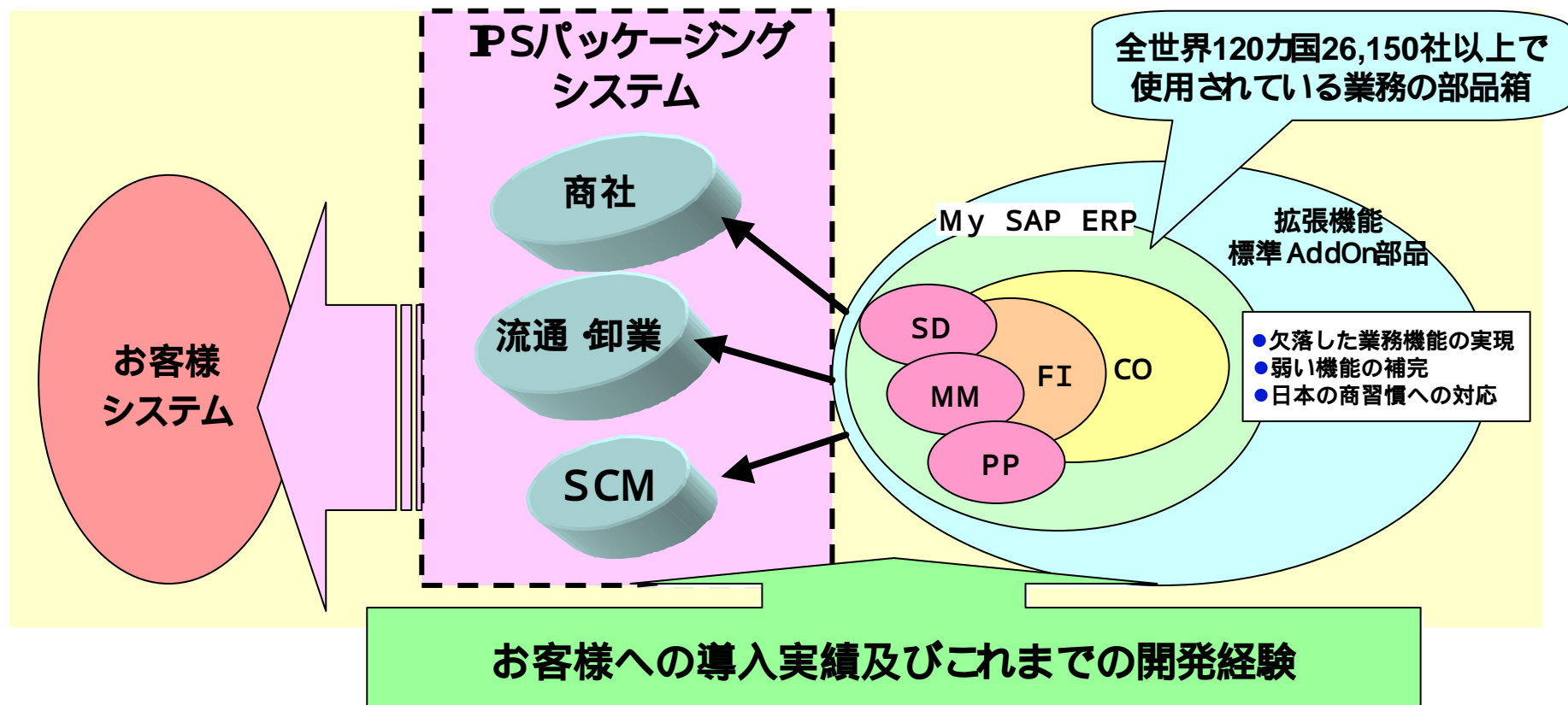
企業における資源の管理をするために必要な機能 (例 :会計システム、調達システム、販売システム、生産システム、人事システム、) を持ち、かつ全システムが有機的に統合されている構造を持つソフトウェア



ERPそのものが**基幹システム**
従って、**導入時に重要なことは・・・**
システム導入の狙いを明確に設定し
目標実現の為のツール利用技術を徹底的に考えること!!

IPSの商品は？

- ・企業の基幹業務全体、複数業務の組み合わせをカバーするパッケージシステムを提供
- ・ERP - R/ 3をベースに、業務統合、情報統合、業務標準化を促進する高品質なシステムを短期間で構築可能
- ・事前に、R/ 3の部品を組み合わせ、部品が無い業務機能については独自で開発し、業務システムとしてパッケージング



- 商社テンプレート **IPSパブリックパッケージ (商社)**
 - 業種 : 総合商社、専門商社、卸業商社
 - 特徴的な機能 : 商社の多種多様なビジネスモデル、サービスへの対応
取引モデル、事業・品種の多様性への対応
BW (データウェアハウス)の実装

- 製造業テンプレート **IPSパブリックパッケージ (プロセス系製造業 :化学)**
 - 業種 : 化学、素材、消費財
 - 特徴的な機能 : 損益管理と原価計算
“何が儲かっている、何が損しているかわかる”
BW (データウェアハウス)の実装

- BWテンプレート
 - 業種 : 特に問いません
 - 特徴的な機能 : 主要基幹業務を統合するデータウェアハウス
“全ての管理帳票をBWで出力！”
“今までの紙による平面の情報が、全て立体的に提示されます”



・ 平成19年6月期中間決算概要

当期の経営環境

- ・ IT市場、とくにERP市場においても
中堅企業におけるITへの投資意欲が旺盛。
- ・ 平成20年4月以降に適用されるJSOX法対応、加速する海外展開も
企業のIT投資を後押ししつつある状況。
- ・ 好調な市場背景を受けて、SAPを求める顧客が大企業から中堅企業へと
急速に推移しているが、市場における競合製品については
各種国産パッケージとの競合が目立つようになっており、
品質とコストパフォーマンスを巡るコンペティターとの競争は
ますます激化。

そのような経営環境において当社は・・・

- ・ 営業活動においては、SAP社とのアライアンス及びIPS独自の営業活動に専念し、当社自身の営業力強化に注力。具体的には、
テレマーケティング
経済誌等への広告記事掲載により、広く顧客に対して認知度を高め、顧客の導入機会を検知する、あるいは呼び込む活動。
導入意志決定段階において他社との差別化を明確にし顧客における導入価値をより明らかにするコンサルティングを重視した営業活動を進めて参りました。
- ・ 製品開発面では、従来からの中堅企業向けのA1テンプレートである「パブリックパッケージ」を中心に機能強化・拡充を推進。特に顧客プロジェクトの推進と並行して製品開発を継続的に進める体制、あるいは各業務においてより専門性を高めた製品、サービスの充実を図るべくSAPモジュール毎に開発組織編成の見直しを実施。

新製品として中小企業向けのSAP会計システムとして“会計らくちんパック”をリリース。

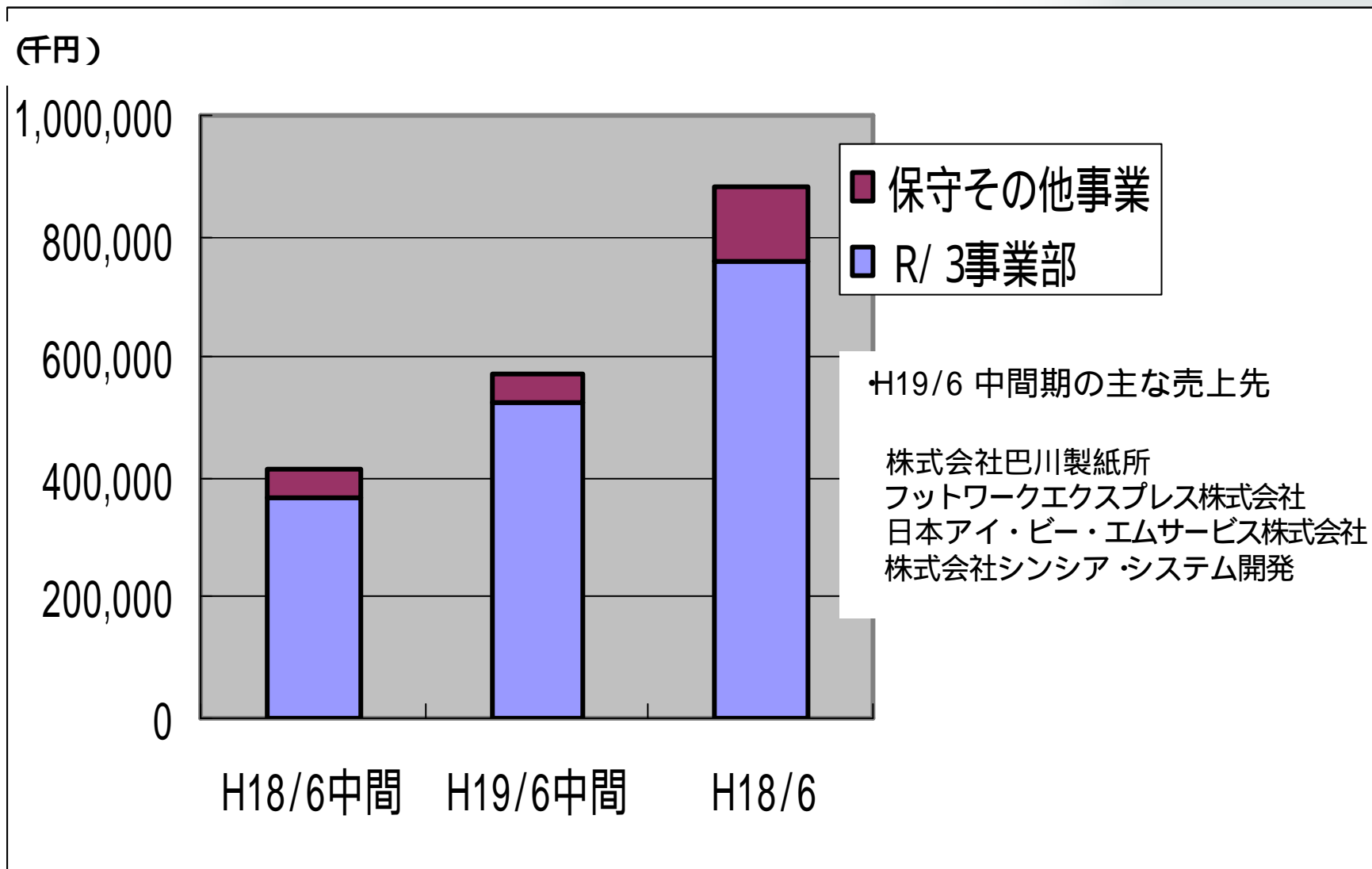
売上高	569,094千円	< 前年同期比	22.0%増 >
経常利益	33,178千円	< 前年同期比	234.4%増 >
当期純利益	18,090千円	< 前年同期比	246.4%増 >

平成19年6月期中間業績概要 (前年同期比)

(単位 :百万円)

	H18/6期 中間決算	H19/6期 中間決算	前年同期比
売上高	466	569	22.0% 増
営業利益	9	33	239.1% 増
経常利益	9	33	234.4% 増
当期純利益	5	18	246.4% 増
1株当たり 当期純利益	220円01銭	762円19銭	-

セグメント別売上高



・ 平成19年6月期業績見込

平成19年6月期業績見込 (前年同期比)

(単位 :百万円)

	H18/6期 (実績)	H19/6期 (予想)	前年同期比
売上高	891	900	0.9% 増
経常利益	42	50	16.8% 増
当期純利益	22	26	14.2% 増

■ 本資料についてのご注意

本資料は、業績の進捗状況の参考となる情報提供のみを目的としたものであり、投資等の最終決定は投資家ご自身の判断でなさるようお願い致します。また本資料を判断材料とした投資の結果等に対する責任は負いかねますのでご了承ください。

本資料中の予想または計画は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は経済情勢等今後様々な要因によって予想または計画数値と異なる場合があります。